

### 足利市らしい 学校のあり方を問う！



大谷 弥生  
議員

**問** 学校教育法等が改正され、少子化に伴う適正規模・適正配置が問われている中、足利市らしい学校のあり方をどのように考えているのか。

**教育長** 本市の教育の基調は「足利市の教育目標」にあり、これは生涯学習社会の実現をめざすものである。教育の連続性を大切にしながら、家庭、地域社会と一体となり、さらに小中学校が連携を深め、子供たちの成長に努めていく、これがこれからの学校であろうと考えている。

### ◆サッカー環境の向上

**問** 本市の中学生にも芝のグラウンドで試合をさせてあげたいと願っていますが、足利工業大学の敷地内に整備する人工芝サッカー場の中学校の利用についてはどのように考えているのか。

**教育次長** 同サッカー場の効果的かつ効果的な運営を図るため、今後大学側と維持管理協定を締結する中で、その利用方法を決めていくこととなる。本整備により多くの市民に利用していただく中で、中学生の技術力の向上や地域内外の交流が図られるよう、各種団体と調整したい。



### 少年スポーツ振興のために 壮行会の再開を！



末吉 利啓  
議員

**問** 全国大会等で本市の看板を背負い、頑張っている子供たちに対し、市を挙げて応援する体制を整え、市長が直接激励する壮行会を再開すべきではないか。

**教育次長** 小中学生の全国大会は、春休みや夏休みなどに開催されることから、体育協会専門部と連携を図り、また、新聞等の情報収集を行うなど、壮行会の再開を検討していきたい。



### ◆歴史文化財保存・展示施設

**問** 鏝阿寺本堂の国宝指定、足利学校の日本遺産認定、さらには山姥切国広展の熱狂など、足利には先人が千数百年かけて築き上げたポテンシャルがある。こうした歴史観光の盛り上がり、公共施設マネジメントを機に、今後の歴史文化財保存・展示施設のあり方を本格的に議論すべきではないか。

**市長** これから公共施設マネジメントの議論が始まるところであり、文化財の保存・展示も含めて中長期的、総合的に議論をスタートさせ、市民や議会の意見を聞きながら進めていきたい。

### 第7次足利市総合計画 戦略プログラム について問う！



須田 瑞穂  
議員

**問** 農作業の効率化や特産物のブランド化を進め、安定した強い農業づくりを推進することだが、これまでの取り組みについて聞きたい。

**市長** 認定農業者を中心に農地の集約化を進め、経営の効率化を図る一方、あしかが美人に代表される農産物のブランド化による販路拡大や地産地消による消費拡大、法人の農業参入促進等を通じ、農業の振興と農業所得の向上に努めてきた。



▲あしかが美人に認定された野菜の一例

### ◆スマートウェルネスシティプロジェクト

**問** 健康に無関心な方々の行動変容を促すための具体策について、どのような取り組みを行っているのか。

**市長** 足利工業大学看護学部と連携し、平成29年度から3年間、市民の健康長寿の延伸を目指した「足利長寿研究」を進めていく。本市の長寿の方々の健康面をチェック・分析し、その研究成果を広く市民に公表していく予定であり、既にご協力いただく地域の方々との交流が始まっている。